

取扱説明書 保証書

DIGNO[®] L

目次

ご利用の準備

基本操作

安全上のご注意

付録
保証書

P.1

いつでも
きれいに

P.2

騒がしい場所でも
通話らくらく

P.4

慣れた方法で
文字入力

P.6

アラームで
時間どおりに

DIGNO[®] L を 使いこなす

P.8

撮った**写真**を
活用しよう

P.10

位置情報を
安全・便利に

P.12

お出かけ前の
電池対策

いつでも きれいに

DIGNO® L(ディグノ エル)はハンドソープで洗うことができます。
また、背面部には、通常使用する際に摩擦などで発生する浅い擦り傷であれば、
自然回復可能な塗装技術が使われています(スクラッチヒーリング)。



ハンドソープでの洗いかたや注意事項については、
「洗淨のしかた」(▶P.57)をご参照ください。

こんなときに

汚れたままの手で
触ってしまった

指紋や汗が
気になる

騒がしい場所でも 通話らくらく

「スマートソニックレシーバー」は、
ディスプレイを振動させて音を伝えます。
耳をおおようにディスプレイ部を当てることで
周囲の騒音を遮へいし、
音声聞き取りやすくなります。

こんな場所での通話に



※街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう

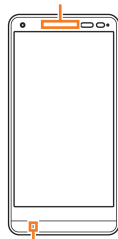


耳への当てかた

受話部（レシーバー）付近を耳に当て、耳をおおうようにしてください。

聞こえかたや周囲の環境に合わせて、DIGNO[®] Lの位置を上下左右に動かし、調整してください。

受話部（レシーバー）



送話口（マイク）

memo

聞き取りやすさには個人差があります。

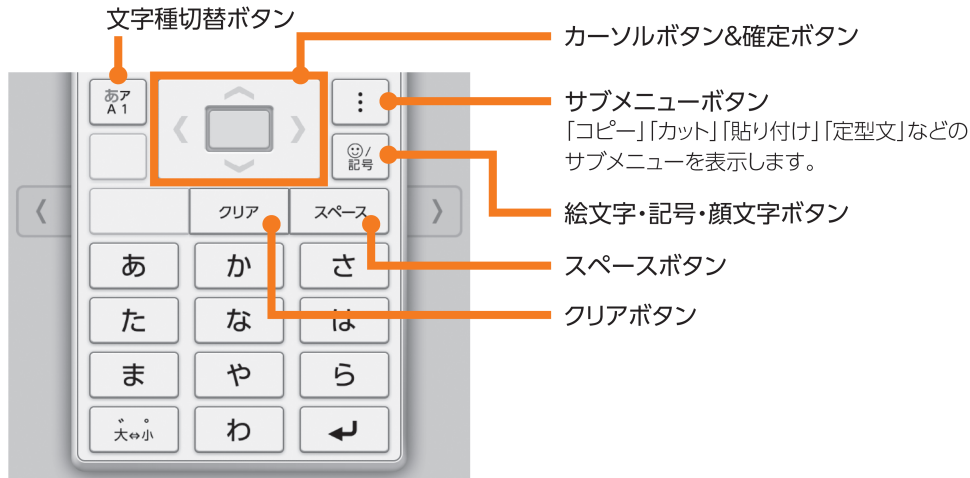
慣れた方法で 文字入力

「ケータイ入力」は、
テンキーやカーソルボタンなどの
キー配列、機能の呼び出しなどが
携帯電話と同じように
設定されています。

こんな方に

携帯電話から
スマートフォンに
切り替えたばかり

スマートフォンの
キーボードに
なかなか慣れない



文字入力画面で「

5

アラームで 時間どおりに

「時計」アプリでは、生活パターンに合わせて複数のアラームを設定できます。
お好みで、音やバイブレーションを使い分けてください。

**「時計」アプリの「アラーム」を
起動するには**

ホーム画面→[アプリ一覧]→[時計]→
「アラーム」タブをタップ

こんなときに

平日と休日で
目覚ましを
使い分けたい

毎日
決まった時間に
ストレッチ



「▼」をタップすると、
音やバイブレーション、
アラーム名などを設定できます。

「時計」アプリのほかの機能

タイマー

キッチンタイマーとして。
料理の時間が測れます。
濡れた手でも気にせずタッチ!

ストップウォッチ

ジョギングに携帯して。
ラップもとれるから、ペース配分の確認も
カンタン。

世界時計

海外旅行や海外出張のおともに。
現地時間も日本時間も両方確認できます。

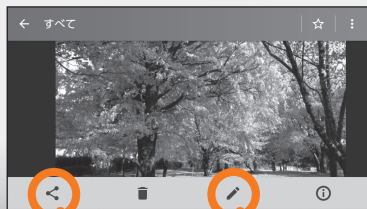
撮った写真を 活用しよう

せっかく撮った写真が埋もれていませんか？

壁紙に貼り付けて気分転換、顔写真は切り抜いて連絡先のプロフィール写真に。
撮った写真をEメールに添付して送信したり、SNSへアップしたりしてみましょう。

「ギャラリー」で表示した 写真をタップすると

ホーム画面→[アプリ一覧]→[ギャラリー]と
操作し、写真を表示して画面をタップ

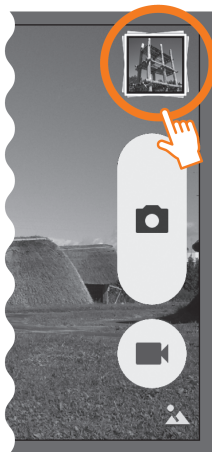


編集

エフェクト
フレーム
トリム
ペイント

共有

メールに添付
SNSなどに
アップ



カメラの撮影画面から ギャラリーを即起動できます

撮影画面のサムネイルをタップすると、今撮った写真が
ギャラリーの表示画面で表示されます。

写真や動画を共有する

- ① ギャラリーの表示画面で[共有] (共有) → 共有するアプリを選択して相手に送ります。
- ② SNSアカウントを登録しておく、SNSを起動してから写真や動画をアップできます。

memo

SNSにアップするときは、公開範囲を確認・設定しましょう。信頼できる親しい人だけに公開するほうが安心です。

位置情報を 安全・便利に使う

位置情報を付加して写真や動画を撮ると、地図上にサムネイルが表示され、撮った写真や動画の日時・場所が一目わかります。

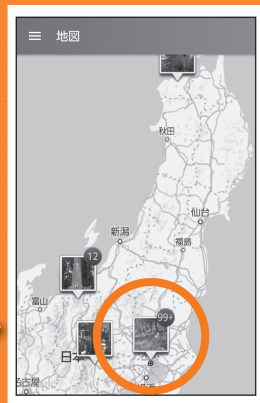
- 「カメラ」の撮影画面で[⚙️]→「全般」タブをタップ→「位置情報付加」をONにしてから撮影してください。

地図にサムネイルを表示するには

ホーム画面→[アプリ一覧]→[ギャラリー]→
[≡]→[地図]

※アプリによっては、位置情報を集めて外部へ送るものがあります。

特にお客様がご自分でインストールされたアプリによっては、知らない間に位置情報を集めて外部へ送るものがあります。位置情報の管理には十分注意しましょう。





地図の中の写真をタップして、
ギャラリーの画面で「」をタップすると、
写真の撮影日時、位置情報などが
表示されます。

位置情報を他人に知られないようにする

- ① ホーム画面 → [アプリ一覧] → [設定]
- ② [位置情報] → 「OFF」にする

お出かけ前の 電池対策

無駄な電池消費をできるだけ抑えるには？

「エコモード」を利用して、スリープ時間や画面の明るさなどを設定することで電池の消耗を抑えます。電池残量少量時には、「データ通信」をOFFにして電話だけつながる状態にすると待受時間をのばせます。

電池残量が気になるときは

ホーム画面→[アプリ一覧]→[エコモード]





エコモードの画面で
「」をタップして、
個別の設定を行います。

エコモードはカスタマイズできます

自動設定

- ・エコモードが起動する時間や電池残量の数値を設定します。

個別設定

- ・エコモード設定時に対象機能を個別にオフにしたり、最小値に設定したりします。

スリープ	画面が自動消灯するまでの時間を設定
画面の明るさ	画面の明るさを設定
画面の自動回転	画面の自動回転をオフに設定
Wi-Fi	Wi-Fi®をオフに設定
オート通信制御	7日間未使用のアプリの動作を制限
Bluetooth	Bluetooth®をオフに設定
位置情報アクセス	位置情報へのアクセスをオフに設定
Reader/Writer,P2P	Reader/Writer,P2Pをオフに設定
CPUクロック制限	CPUクロックの上昇を制限
データ通信	データ通信をオフに設定

ごあいさつ

このたびは、DIGNO® L(ディグノ エル)(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に『取扱説明書』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

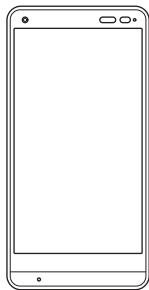
お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

最新の『取扱説明書』につきましては、UQコミュニケーションズ株式会社のホームページ(<http://www.uqwimax.jp/>)をご参照ください。

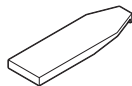
- ・ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ・ auが提供しているサービスはご利用になれませんので、あらかじめご了承ください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



KYV36用 IC Cardトレイ
取り出し工具(試供品)

- 取扱説明書・保証書(本書)
- 洗浄のしかた／水抜きのかた

周辺機器(オプション品)のご紹介

- ・ 共通ACアダプタ05(0501PWV)(別売)



memo

- 電池は本製品に内蔵されています。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

本製品をご利用いただくにあたって

- 本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。
- UQ mobile Multi IC Card 01を取り付けると、本製品での通話、データの送受信が可能になります。本製品がネットワークに接続されない場合は、UQお客様サポートセンターにお問い合わせください。
- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください(ただし、LTE/WiMAX 2+/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております)。
- 日本国内の緊急機関に接続する場合は、VoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的に通信事業者に送信いたします。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ・本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- ・本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- ・通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元:UQコミュニケーションズ株式会社

沖縄バリューイネイブラー株式会社

製造元:京セラ株式会社



memo

- ◎本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

マナーも携帯する

■こんな場所では、使用禁止！

- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■周りの人への配慮も大切

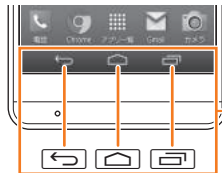
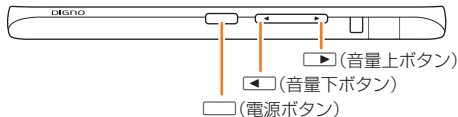
- ・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を抑えるのはもちろん、着音音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- ・携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まったの通話や操作は控えましょう。

- ・新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。
- ・携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

本書の表記方法について

■ 掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する 操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

表記例	意味
ホーム画面→[電話] →[1][4][1]→[発信]	ホーム画面下部の「 (電話)」をタップします。続けて「」「」「」の順にタップして、最後に「 発信」をタップします。
スリープモード中 に (電源ボタン)	スリープモード中に (電源ボタン)を押します。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。

また、画面の一部などを省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。

実際の画面



本書の表記例



memo

- ◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では本体カラー「コーラルピンク」の表示を例に説明しています。
- ◎ 本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」、「microSDXC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

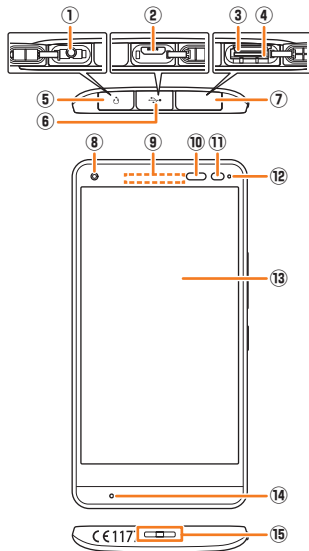
目次

ごあいさつ	14
同梱品一覧	14
本製品をご利用いただくにあたって	15
マナーも携帯する	16
本書の表記方法について	17
目次	19
ご利用の準備	20
各部の名称と機能	20
UQ mobile Multi IC Card 01を 取り付ける／取り外す	23
microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す	25
充電する	27
電源を入れる／切る	28
初期設定を行う	29
Wi-Fi®を設定する	31
スタート画面について	32
基本操作	33
タッチパネルの使いかた	33
ナビゲーションバーの使いかた	34
文字を入力する	34
ホーム画面を利用する	36
アプリ一覧を利用する	36
本製品の状態を知る	36

自分の電話番号を確認する	38
マナーモードを設定する	38
機内モードを設定する	38
電話をかける	39
電話を受ける	39
メニューを表示する	39
安全上のご注意	40
安全上のご注意(必ずお守りください)	40
取り扱い上のお願ひ	47
MIL-STD-810G、防水・防塵、洗浄に関するご注意	53
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について	61
パケット通信料についてのご注意	62
アプリケーションについて	62
付録	64
故障とお考えになる前に	64
ソフトウェアやOSを更新する	65
アフターサービスについて	66
主な仕様	67
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	69
OpenSSL License	70
FCC Notice	70
European RF Exposure Information	71
Declaration of Conformity	72
知的財産権について	72
おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意	75

ご利用の準備

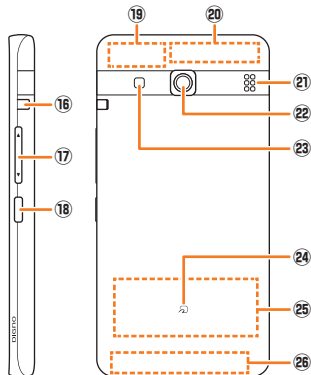
各部の名称と機能



■ 各カバー類の開きかた

○部分に軽く爪をかけて開いてください。

奥まで爪を差し込むとパッキン部に傷を付けてしまうためご注意ください。



- ① **イヤホンマイク端子**
イヤホン(市販品)などの接続時に使用します。
- ② **外部接続端子**
共通ACアダプタ05(0501PWV)(別売)などの接続時に使用します。
- ③ **microSDメモ리카ードスロット**
- ④ **UQ mobile Multi IC Card 01挿入口**
- ⑤ **イヤホンマイク端子カバー**
- ⑥ **外部接続端子カバー**
- ⑦ **カード挿入口カバー**
- ⑧ **インカメラ(レンズ部)**
- ⑨ **受話部(レシーバー)**
スマートソニックレシーバー(▶P.22)で通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
- ⑩ **赤外線ポート**
赤外線通信で、データの送受信を行います。
- ⑪ **近接センサー／光センサー**
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- ⑫ **着信(充電)ランプ**
充電中は赤色で点灯します。
着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。
- ⑬ **ディスプレイ(タッチパネル)**
- ⑭ **送話口(マイク)**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中や動画の録画中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。

- ⑮ **ストラップ取付口**
 - ⑯ **TVアンテナ**
テレビ(ワンセグ)を視聴するときに伸ばして使用します。通話時やChromeご利用時などに伸ばしても、通話やデータ通信に影響はありません。
 - ⑰  **音量下／上ボタン**
音量を調節します。 (音量下ボタン)を1秒以上長く押すと「マナーモード」を設定できます。
 - ⑱  **電源ボタン**
電源ON/OFFやスリープモードの移行／解除などに使用します。
 - ⑲ **内蔵GPS／Bluetooth®／Wi-Fi®アンテナ部***
 - ⑳ **内蔵サブアンテナ部***
 - ㉑ **スピーカー**
着信音やアラーム音などが聞こえます。
 - ㉒ **アウトカメラ(レンズ部)**
 - ㉓ **撮影ライト／簡易ライト**
 - ㉔  **マーク**
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。
 - ㉕ **NFC・FeliCaアンテナ部***
 - ㉖ **内蔵メインアンテナ部***
- ※ アンテナ部付近を手でおおったり、シールなどを貼ったりしないでください。通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。

 memo

- ◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。背面を無理に取り外そうとすると、破損や故障の原因となります。
- ◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切り再起動する場合は、「強制的に電源を切り再起動する」(▶P.29)をご参照ください。

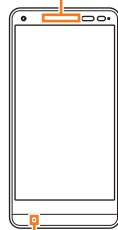
■ スマートソニックレシーバーについて

本製品は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。受話部(レシーバー)に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

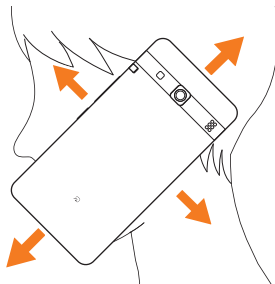
■ 耳への当てかた

図のように、本製品の受話部(レシーバー)付近を耳に当て、耳をおおうことで周囲の騒音を遮へいし、音声により聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本製品の位置を上下左右に動かし、調整してください。

受話部 (レシーバー)



送話口(マイク)

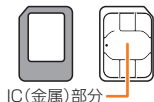

 memo

- ◎ 通話時に本製品の送話口(マイク)を指などでふさがないようにご注意ください。
- ◎ イヤホン(市販品)を接続している場合は、スマートソニックレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
- ◎ ディスプレイにシールやシート類などを貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
- ◎ 聞き取りやすさには個人差があります。
- ◎ 周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

UQ mobile Multi IC Card 01を 取り付ける／取り外す

- UQ mobile Multi IC Card 01の取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。また、必ず指定のACアダプタなどのmicro USBプラグを本製品から抜いてください。

UQ mobile Multi IC Card 01



memo

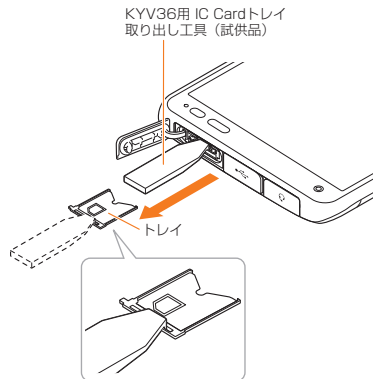
- ◎ UQ mobile Multi IC Card 01を取り扱うときは、カードやトレイ、本製品の故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ UQ mobile Multi IC Card 01のIC(金属)部分や、本製品のICカード用端子には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け／取り外しはしないでください。
- ◎ UQ mobile Multi IC Card 01を正しく取り付けていない場合やUQ mobile Multi IC Card 01に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したUQ mobile Multi IC Card 01はなくさないようご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたUQ mobile Multi IC Card 01を挿入しないでください。故障の原因となります。
- ◎ ディスプレイに貼られている保護シートに「au Nano IC Card 04」と記載がありますが、これは「UQ mobile Multi IC Card 01」を指しています。あらかじめご了承ください。

UQ mobile Multi IC Card 01を 取り付ける

- UQ mobile Multi IC Card 01を取り付けるときは、必ず付属のKYV36用 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をご使用ください。

1 本製品の電源を切り、カード挿入口カバーを開ける

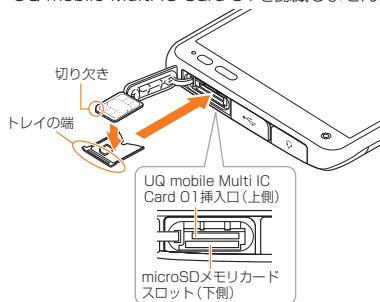
2 KYV36用 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をトレイの端にかけ、トレイを引き出す



3 UQ mobile Multi IC Card 01の切り欠きの位置を合わせてトレイに載せ、トレイをUQ mobile Multi IC Card 01挿入口(上側)にまっすぐに挿入する

トレイを本体に挿入後、KYV36用 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をトレイの端にかけて奥まで押し込んでください。

- UQ mobile Multi IC Card 01はトレイの端に乗り上げないように、無理な力を加えずにまっすぐ奥まで押し込んでください。トレイがうまく入らない場合は無理に押し込まず、一度抜いてから先端を少し浮かせて再度入れ直してください。トレイに乗り上げるとUQ mobile Multi IC Card 01を認識しません。



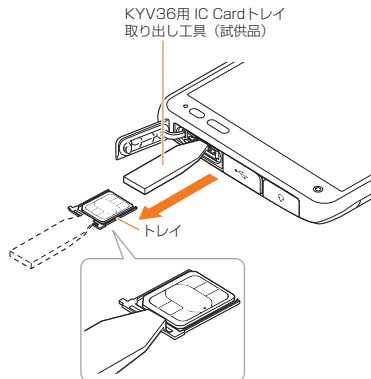
4 カード挿入口カバーを閉じる

UQ mobile Multi IC Card 01を取り外す

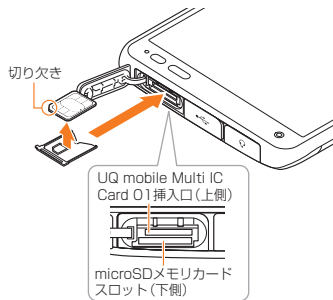
- UQ mobile Multi IC Card 01を取り外すときは、必ず付属のKYV36用 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をご使用ください。

1 本製品の電源を切り、カード挿入口カバーを開ける

2 KYV36用 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をトレイの端にかけ、トレイを引き出す



- 3** UQ mobile Multi IC Card 01を取り出し、トレイをUQ mobile Multi IC Card 01挿入口(上側)にまっすぐに挿入する



- 4** カード挿入口カバーを閉じる

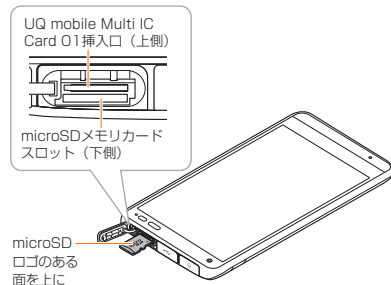
microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す

microSDメモ리카ードを取り付ける

- 1** 本製品のカード挿入口カバーを開ける

- 2** microSDメモ리카ードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモ리카ードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



- 3** カード挿入口カバーを閉じる



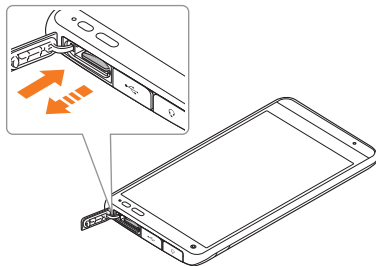
memo

◎ microSDメモ리카ードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]→[OK]
- 2 本製品のカード挿入口カバーを開ける
- 3 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



4 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

microSDメモリカードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。

5 カード挿入口カバーを閉じる



memo

- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- ◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ◎ microSDメモリカードを取り外す場合は、データが壊れる(消去される)ことを防ぐため、必ずマウント解除動作を行ってください。

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが消灯したら充電完了です。



memo

- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
- ◎ 指定の充電用機器を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります、電池のもちが悪くなります。
- ◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- ◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センターまでご連絡ください。
- ◎ 水分やほこりなどが入らないように、外部接続端子カバーは、充電後しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- ◎ 充電中、充電ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。
- ◎ 接続端子に金属製のアクセサリーや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

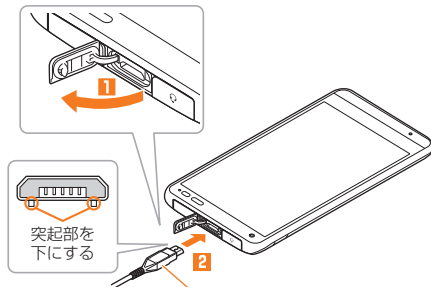
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

共通ACアダプタ05(0501PWV)(別売)を接続して充電する方法を説明します。

最新の対応周辺機器につきましては、UQコミュニケーションズ株式会社のホームページ(<http://www.uqwimax.jp/>)にてご確認ください。UQお客様サポートセンターにお問い合わせください。周辺機器はUQコミュニケーションズ株式会社のホームページからご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。

1 本製品の外部接続端子カバーを開ける

2 共通ACアダプタ05(0501PWV)(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む

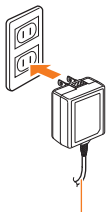


共通ACアダプタ05(0501PWV)(別売)

3 共通ACアダプタ05(0501PWV) (別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「B」が表示されます。

充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



共通ACアダプタ05(0501PWV) (別売)

4 充電が完了したら、外部接続端子から共通ACアダプタ05(0501PWV) (別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

5 外部接続端子カバーを閉じる

6 共通ACアダプタ05(0501PWV) (別売)の電源プラグをコンセントから抜く



memo

- ◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 着信ランプが点灯するまで□(電源ボタン)を長く押す

スタート画面が表示されます(▶P.32)。

- ・ 初めて電源を入れたときは、初期設定が起動します(▶P.29)。



memo

- ◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
- ◎ 画面の点灯中に□(電源ボタン)を押すか、一定時間操作しないで画面が消灯すると、スリープモードに移行します。

電源を切る

- 1  (電源ボタン) を1秒以上長く押す
- 2 [電源を切る]→[OK]

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

- 1  (電源ボタン) を11秒以上長く押す



◎ 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、画面の指示に従って言語やWi-Fi®、Googleアカウントなどの設定を行ってください。

Googleアカウントの設定について

Googleアカウントの設定を行うと、「Gmail」、「Playストア」、「ハングアウト」などのGoogle社のアプリを利用できます。

主な設定項目は次の通りです(次の項目以外にお客様の「姓」と「名」の登録が必要となります)。

ユーザー名	お客様のGoogleアカウント(ユーザーID)、および、メールアドレスとなる任意の文字列を登録します。お好きなユーザー名を登録できますが、他のユーザーと重複するユーザー名は設定できません。
パスワード	Googleアカウントを利用する際のパスワードを登録します。

1 言語を選択→→接続するWi-Fi® ネットワークの設定を行う

- ・ Wi-Fi®を設定しない場合は「スキップ」をタップします。



2 [スキップ]→[または新しいアカウントを作成]

- Googleアカウントをお持ちの場合は、メールアドレスを入力→[次へ]と操作し、画面の指示に従って設定してください。

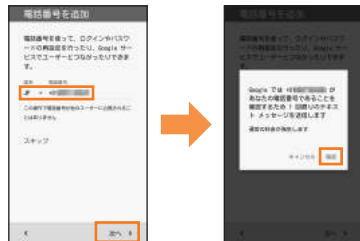
**3 お客様の「姓」、「名」を入力→[次へ]→任意のユーザー名を入力→[次へ]**

ユーザー名の登録確認が開始されます。

**4 パスワードを入力→確認用にパスワードを再入力→[次へ]****5 国名、電話番号を確認／変更→[次へ]→[確認]**

設定した電話番号に、Google確認コードが書かれたテキストメッセージが送信されます。

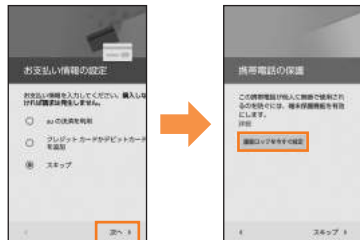
- 電話番号を設定しない場合は「スキップ」をタップします。



6 内容を確認し、[同意する]→内容を確認し、[次へ]

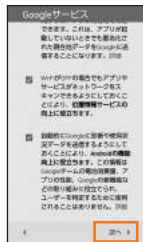


- 7 必要に応じて、Google Playの購入設定を行う→[次へ]→[画面ロックを今すぐ設定]→画面の指示に従ってセキュリティと通知を設定
- 画面ロックを設定しない場合は「スキップ」をタップします。



※「auの決済を利用」はご利用いただけません。

8 Googleサービスの設定を確認し、[次へ]



Wi-Fi®を設定する

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットに接続できます。

1 ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]

2 [Wi-Fi]→[ON]にする

利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

3 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]

- セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)を入力し、「接続」をタップします。

■ WPS方式のアクセスポイントを利用する場合

1 Wi-Fi®ネットワーク一覧画面→[]→[詳細設定]

2 [WPSプッシュボタン]／[WPS PIN入力]

- WPSボタン方式の場合は、アクセスポイントのWPSボタンを押し続けてアクセスポイントをWPSモードに設定すると、自動的にアクセスポイントを検出し登録が開始されます。
- WPS PIN入力方式の場合は、表示されたPINコードをアクセスポイントに入力すると、登録が開始されます。



memo

- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにした場合、電池の消費が大きくなります。無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用していないときは、オフにすることをおすすめします。

スタート画面について

スタート画面は、電源を入れたときやスリープモードを解除したときに表示されます。

スタート画面からホーム画面を表示する

スタート画面が表示されたときは、次の操作でホーム画面を表示できます。

1 「」をスライド／フリック

ホーム画面が表示されます(▶P.36)。またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。

① 通知表示

- 通知をダブルタップすると通知されたアプリを起動します。

② スタートアイコン



《スタート画面》

基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

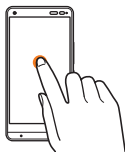
■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



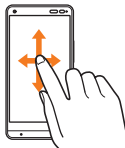
■ ロングタッチ

項目やボタンなどに指を触れた状態を保ちます。



■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま目的の方向へなぞります。



■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



■ ズームイン／ズームアウト

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり、閉じたりします。



■ ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



ナビゲーションバーの使いかた

画面下部のナビゲーションバーには次のボタンが表示されます。



 (BACKボタン) : 1つ前の画面に戻ります。文字入力画面で「」が表示された場合は、タップするとキーボードやメニューを非表示にします。

 (HOMEボタン) : ホーム画面を表示します。ロングタッチまたは上方向にスライドすると、画面下部に半円状のアシストリングが表示され、「」/「」/「」の方向にスライドすると、通知パネル/Google(Google Now)/スライドスクリーンを起動できます。

 (RECENTSボタン) : 最近使用したアプリの一覧を表示します。

文字を入力する

文字入力で使用するソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

キーボードを切り替える

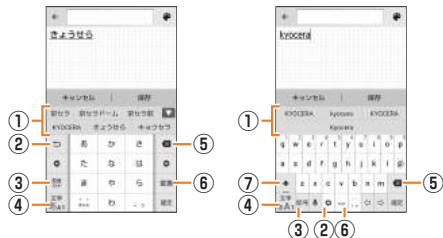
ソフトウェアキーボードの「テンキー」と「フルキー」を切り替えることができます。

1 文字入力画面→[]→[テンキー⇄フルキー]

テンキー／フルキーで入力する

テンキーは、一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップするたびに文字が切り替わります。

フルキーは、一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップすると、ボタンに表示されている文字が入力されます。日本語は「ローマ字」で入力します。



《文字入力画面(テンキー)》

《文字入力画面(フルキー)》

フリック入力について

ソフトウェアキーボードが「テンキー」の場合、キーをタップすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字が入力されます。



文字を拡大表示する

メニュー項目などの文字を大きく表示することができます。

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]
- 2 [ユーザー補助]→「大きい文字サイズ」を「ON」にする



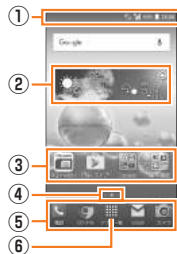
memo

◎ ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[ユーザー補助]→[拡大操作]と操作し、機能を「ON」にしても画面を拡大表示できます。操作方法は画面の説明をご確認ください。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。

- ① ステータスバー
- ② 天気ウィジェット
- ③ ショートカット／フォルダ
- ④ インジケータ
- ⑤ クイック起動エリア
- ⑥ アプリ一覧



《ホーム画面》

天気ウィジェットを利用する

天気情報を確認できます。

1 ホーム画面→天気ウィジェットをタップ

天気情報画面が表示されます。

- ・ 初回起動時は、地域設定画面が表示されます。「現在地」をタップするか、「+」をタップして地域を設定してください。

2 天気情報画面で天気の詳細を確認

: 天気情報を更新します。

: 地域や自動更新時間を設定できます。

アプリ一覧を利用する

インストールされているアプリの一覧が表示されます。

1 ホーム画面→[アプリ一覧]

アプリ一覧が表示されます。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり (Gmail)
	スヌーズ中のアラームまたは解除せずに終了したアラームあり
	カレンダーの予定通知あり
	テレビ起動中
	音楽再生中
	通話中または着信中
	UQ／auのVoLTE対応電話機との高音質通話時に表示
	伝言メモあり

アイコン	概要
	本体の空き容量が少ないとき
	他のBluetooth®機器からファイル受信リンクあり
	データを送信／アップロード
	データを受信／ダウンロード
	インストール完了
	インストール済みアプリのアップデート通知
	VPN接続中
	メジャーアップデート(OS用)、またはソフトウェア更新あり
	USBテザリング中
	Wi-Fi®テザリング中
	Bluetooth®テザリング中
	Wi-Fi®テザリングまたはBluetooth®テザリングとUSBテザリングを同時に使用中
	スクリーンショット完了
	microSDメモ리카ードのマウント解除中

■ 主なステータスアイコンの例

アイコン	概要
	時刻
	電池レベル状態
	100%／ 残量なし／ 充電中

アイコン	概要
	電波の強さ・通信状態(LTE／WiMAX 2+) レベル4／ 圏外／ 通信中 LTE／WiMAX 2+使用可能*／ ローミング中(ネットワークに応じた通信方式も合せて表示します)
	機内モード設定中
	UQ mobile Multi IC Card 01未挿入
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4／ レベル0
	アラーム設定あり
	マナーモード(バイブレーション)設定中
	マナーモード(ミュート)設定中
	マナーモード(ドライブ)設定中
	Bluetooth®機能利用中 待機中／ 接続中
	伝言メモ設定中 伝言メモ設定中／ 伝言メモ全件録音済み
	Reader/Writer, P2P機能利用中
	おサイフケータイ®機能をロック中
	GPS利用中

* 日本国内においては、「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

通知パネルでは、お知らせの確認や対応するアプリの起動ができます。また、ON/OFF設定アイコンが表示され、よく使う機能のオン/オフがすぐに設定できます。

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。



memo

- ◎ 通知パネルを上にもスライドすると、通知パネルを非表示にすることができます。
- ◎ 新しいお知らせがあると、画面上部に通知が表示されます。
- ◎ 消去できる通知がある場合は、画面右下の「通知を消去」をタップします。

自分の電話番号を確認する

1 アプリ一覧→[設定]→[プロフィール]

プロフィール画面が表示されます。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 (音量下ボタン)を1秒以上長く押す

マナーモードの種別を変更する

1 アプリ一覧→[設定]→[音と通知]→[マナーモード種別]→[バイブレーション]／[ミュート]／[ドライブ]

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、パケット通信、無線LAN(Wi-Fi[®])機能、Bluetooth[®]機能)がすべてオフになります。

1 アプリ一覧→[設定]→[その他]→「機内モード」を「ON」にする

機内モードが設定されると、ステータスバーに「」が表示されます。

電話をかける

1 ホーム画面→[電話]

電話番号入力画面が表示されます。

- 通話履歴画面が表示された場合は「電話」タブをタップしてください。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [発信]→通話→[通話終了]

通話中に◀▶(音量下/上ボタン)を押すと、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。



memo

- ◎ 発信中/通話中に顔などによって画面をおおうと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
- ◎ 送話口(マイク)をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

電話を受ける

1 着信画面→[電話に出る]

通話を開始します。

2 通話→[通話終了]



memo

- ◎ スリープモード中やスタート画面表示中に着信した場合は、電話画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

伝言メモで応答する

電話に出られないときに伝言メモのメッセージで応答し、相手の伝言を録音できます。

1 着信画面の上部をタップ

電話画面が表示されます。

2 [メニュー]→[伝言メモ応答]

発信元にメッセージが流れます。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、「」や「」などをタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

安全上のご注意

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- この「安全上のご注意」には本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

 危険	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 ^(※1) を負うことが想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が軽傷 ^(※2) を負うことが想定される内容や物的損害 ^(※3) の発生が想定される内容」を示しています。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、UQ mobile Multi IC Card 01、周辺機器共通



危険

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。



高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。



電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。



火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。



お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。



本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センターまでお問い合わせください。



警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください(おサイフケータイ®をロックされている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください)。



金属製のアクセサリなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子、イヤホンマイク端子、コンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。



落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。



屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。



接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。発熱・火災・故障・感電・やけどの原因となります。



本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。



本製品が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災・故障・やけどの原因となります。



本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体がイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーなどから本製品などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。





自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。交通事故や転倒・転落事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。



乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。



充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、発熱・発火・破裂・故障の原因となります。



注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災、故障の原因となります。



直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・変形・故障の原因となる場合があります。



ぐらついた台の上や傾いた場所などに置いたり、不安定な場所で充電したりしないでください。落下してけがや破損の原因となります。パイプレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。故障・傷害の原因となります。



本製品を長時間使用したり、外部電源と接続したりした状態では熱くなることがあります。本製品や指定の充電用機器に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。また、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。



本製品を充電する際は、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。



使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センターまでご連絡ください。



イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、少しずつ音量を上げて適度な音量に調節してください。始めから音量を上げすぎて突然大きな音が出たり、音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。



ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。

■ 本体について



危険

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



本体にくぎをさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。



ペットが本体に噛みつかないようにご注意ください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。



警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。



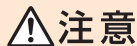
撮影ライト／簡易ライトをご使用になる場合は、人の目の前、自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて発光させないでください。また、撮影ライト／簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。



ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。



本製品のディスプレイ部には化学強化ガラスを使用していますが、万一、破損してしまった場合は破損部に触れないでください。破損部でけがをすることがあります。UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センターまでご連絡ください。



注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。



皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

■ DIGNO® L本体

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース(ディスプレイ側)	PA樹脂	アクリル系 UV硬化塗装
外装ケース(背面側)	PC樹脂	ウレタン系 熱硬化塗装
ディスプレイ	化学強化ガラス	防汚処理
イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバー、音量下/上ボタン、TVアンテナ先端	PC樹脂	アクリル系 UV硬化塗装
電源ボタン	アルミニウム	アルマイト 処理
フロントパネル、カメラレンズ	PMMA樹脂	ハードコート 処理
TVアンテナシャフト	ステンレス	-
モバイルライト部	PMMA樹脂	-

■ KYV36用 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)

使用場所	使用材料	表面処理
外装	POM樹脂	-



キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。



イヤホンマイク端子、外部接続端子、microSDメモリーカードスロット、UQ mobile Multi IC Card O1挿入口に液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。



イヤホンなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。



通常はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを開けずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。



テレビ(ワンセグ)視聴時以外ではTVアンテナを収納してください。TVアンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり思わぬけがの原因となります。



心臓の弱い方は、着信バイブレート(振動)や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



砂浜などの上に直に置かないでください。送話口(マイク)、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

■ 内蔵電池について



Li-ion 00

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。



危険

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。



内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センターなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

■ 充電用機器について



警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電・傷害などの原因となります。
・海外で充電可能なACアダプタ(別売) : AC100V～240V



指定の充電用機器の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電・発熱・発火・火災・傷害の原因となります。指定の充電用機器が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。



指定の充電用機器のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災・傷害の原因となります。



雷が鳴り出したら指定の充電器に触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。



お手入れをするときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、回路のショートの原因となります。



電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。



長時間使用しない場合は指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・故障の原因となります。



水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障・傷害の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器の電源プラグを抜いてください。



ご使用にならないときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントに接続したままにしないでください。また、指定の充電用機器の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。



充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。



注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器を抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。



指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ UQ mobile Multi IC Card 01について



注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



UQ mobile Multi IC Card 01の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。



カードに損傷を与えるようなこと（高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど）はしないでください。データの消失や故障の原因となります。



カードは、直射日光が当たったり高温となる場所やほこりの多い場所には保管、放置しないでください。故障の原因となります。



UQ mobile Multi IC Card 01は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について



警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをご守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
3. 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

取り扱い上のお願ひ

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、UQ mobile Multi IC Card O1、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)を発揮するために、イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーをしっかりと取り付けた状態でご使用ください。
ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、充電用機器、周辺機器に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴が付いたままイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。

- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- 充電用機器
- 周辺機器

- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～90%の範囲内でご使用ください。ただし、-21℃～50℃であれば一時的な使用は可能です。)
- 本製品本体
- UQ mobile Multi IC Card 01 (本製品本体装着状態)
なお、お風呂場については浴室温度40℃以下、湿度99%以下で連続使用1時間以内でご使用ください。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子、イヤホンマイク端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子、イヤホンマイク端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、塗装面の品質変化により、外装印刷の剥がれ、色あせ、自然回復性能が劣化したり自然回復できなかつたりする場合があります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用するとう影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 本製品には、シールなどを貼り付けしないでください。音がなくなる場合や相手に音声が届かなくなることがあります。

■ 本体について

- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面、背面塗装部に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ 保護シートやシールなどを貼った操作
 - ・ 水中での操作
- 改造された携帯電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「 技術基準適合証明マーク」が本製品本体内で確認できるようになっております。
ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[端末情報]→[認証情報]
本製品本体を分解して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイおよび背面塗装部が金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイおよび背面塗装部に触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。

- カメラのレンズやディスプレイの内側が温度や湿度などの使用環境によってくもる(結露する)ことがあります。本製品の故障や不具合ではありません。

- カメラのレンズやディスプレイの内側が結露しやすい環境について
以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズやディスプレイの内側がくもる(結露する)場合があります。
 - ・ 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
 - ・ 寒い場所から屋内などの温かい場所に持ち込む
 - ・ 湿度が高い環境で外部接続端子カバーなどを開閉する

- くもりを取る方法
高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所でキャップ類(イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバー)を開けた状態で放置し、周囲の温度になじませるとくもりが取れます。

- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。

- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のコネクタやプラグがまっすぐになるように抜き差ししてください。

- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

- microSDメモ리카ードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。

- microSDメモ리카ードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。

- microSDメモ리카ードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

- 通話中、送話口(マイク)を指などでおおわないようにご注意ください。相手にこちらの声が聞こえにくくなります。

- センサーを指でふさいだり、センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の状況にセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常にか消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ 本体背面部塗装について

- 本製品の背面部には、通常使用する際に摩擦などで発生する浅い擦り傷であれば、自然回復可能な塗装技術が使われています(スクラッチヒーリング)。
 - ・ 背面部にシールなどを貼ると、シール痕が残ったり、塗装面の品質変化により自然回復性能が劣化したりする場合があります。
 - ・ 周囲の温度環境、傷の深さによって回復する時間は変化します(傷の回復に1週間程度の時間を要する場合もあります)。
 - ・ 本製品を落下させる、投げつけるなど強い衝撃、鋭利な物との接触などによって発生する深い傷(塗装の剥がれ、塗装自体の切断なども含む)はスクラッチヒーリングでも回復できません。すべての傷の回復を保証するものではありません。
 - ・ 本製品の使用および保管中のご利用環境(摩擦素材、荷重、温度など)により、自然回復性能が劣化したり、自然回復できなかったりする場合があります。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆などが鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

- 手袋を装着した状態でのタッチ操作が可能です。手袋の厚み・素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
 - ・ 手袋に水滴が付着している状態でタッチ操作ができない場合は、水滴を拭き取ってください。
 - ・ 素手でタッチ操作した後に手袋を装着してタッチ操作ができない場合は、本製品を一度スリープモードに移行してから、スリープモードを解除してください。
 - ・ 指先がフィットしていない手袋でのタッチ操作ができない場合は、指の腹をディスプレイに当てるように操作してください。

■ 内蔵電池について

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の状態で保管しないでください。
 - ・ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)
 - ・ 電池残量なしの状態(本製品の電源が入らない程度消費している状態)
 - ・ 高温多湿の状態

■ UQ mobile Multi IC Card 01について

- UQ mobile Multi IC Card 01の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる携帯電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。

- 他のICカードリーダー／ライターなどに、UQ mobile Multi IC Card 01を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。

- UQ mobile Multi IC Card 01のIC(金属)部分はいつもきれいな状態で使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)などで拭いてください。

- UQ mobile Multi IC Card 01にシールなどを貼らないでください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りの上で使用ください。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

■ FCC認証情報

- 本製品は、Federal Communications Commission(FCC)の認証を受けています。本製品のFCC IDはJOYKA85です。また、以下の方法でも確認できます。確認方法：ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[端末情報]→[認証情報]

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更の上お使いください。

● 暗証番号

使用例	留守番電話サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● スタート画面のセキュリティの設定

使用例	セキュリティの設定／解除をする場合
初期値	スライド

● PINコード

使用例	第三者によるUQ mobile Multi IC Card 01の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更の上お使いください。

● ロックNo.（「おサイフケータイロック」）

使用例	「おサイフケータイロック」を利用する場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更の上お使いください。

■ PINコードについて

■ PINコード

第三者によるUQ mobile Multi IC Card 01の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は入力が必要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更の上で使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、UQ mobile Multi IC Card 01が取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センターまでお問い合わせください。
- PINコードは「データの初期化」を行ってもリセットされません。

MIL-STD-810G、防水・防塵、洗浄 に関するご注意

本製品はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーが完全に装着された状態でIPX5^{*1}相当、IPX8^{*2}相当の防水性能およびIP5X^{*3}相当の防塵性能を有します。また、家庭用ハンドソープ^{*4}を使った指定の洗浄方法で洗浄することが可能です(当社試験方法による)。

米国国防総省が定めるMIL規格準拠^{*5}の耐衝撃・耐振動性能および温度耐久性能を実現しております(当社試験方法による)。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本製品内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。

※4 ライオン株式会社のキレイキレイ 泡ハンドソープで1日1回の洗浄、約2年程度を想定した京セラ独自の試験を実施しています(2016年7月現在)。使用できるハンドソープにつきましては、京セラ製品ページ(<http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/digno-l/>)よりご確認ください。

なお、本試験については、ハンドソープメーカー各社が一切の関与もしくは保証・責任を負うものではありません。あらかじめご了承ください。

※5 MIL-STD-810Gについて

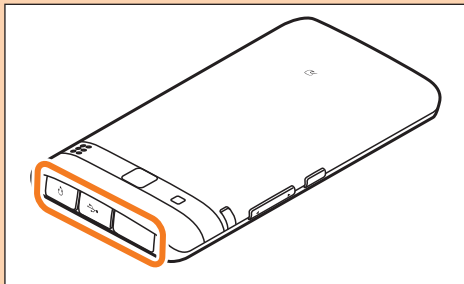
落下	高さ約1.22mから26方向で合板(ラワン材)に落下させる試験
浸漬	約1.5mの水中に30分間浸漬する試験
振動	3時間(3方向各1時間/20~2,000Hz)の振動試験
高温(動作/保管)	動作環境:50℃で連続3時間、保管環境:60℃で連続4時間の高温耐久試験
低温(動作/保管)	動作環境:-21℃で連続3時間、保管環境:-30℃で連続4時間の低温耐久試験

本製品の有する性能および利用シーンは試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての状況での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

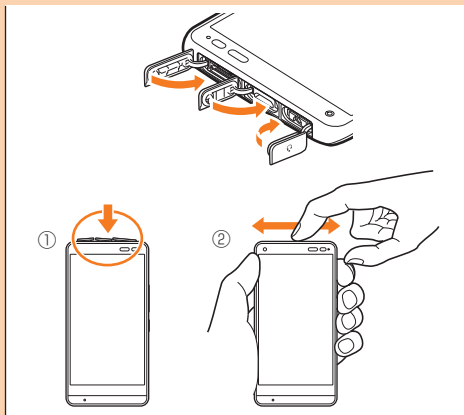
ご使用にあたっての重要事項

- イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーをしっかりと閉じてください。
 - ・ 完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
 - ・ 接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
 - ・ 手や本製品が濡れている状態でのイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの開閉は絶対にしないでください。
 - ・ イヤホンを差したまま、水に浸けないでください。



イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの閉じかた

カバーのヒンジを収納してから①カバー全体を指の腹で押し込んでください。②矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。



- 当社試験で使用した家庭用ハンドソープ以外の製品(業務用を含む)、石けん、洗剤、入浴剤、シャンプー、リンス、ボディソープ、洗顔料、メイク落とし、歯磨き粉などで洗浄しないでください。付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。
- 水以外の液体(アルコールなど)に浸けないでください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口(マイク)、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- お風呂場、台所など、湿気の多い場所に長時間放置しないでください。



石けん・洗剤・入浴剤



海水



プール



温泉



砂・泥

快適にお使いいただくために

- 水濡れ後は本製品の隙間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に各ボタン、イヤホンマイク端子部、外部接続端子部、カード挿入口部、スピーカー部の水を抜いてください。
- 送話口(マイク)、スピーカーなどに水がたまり、一時的に音が伝わりにくくなった場合は水抜きをしてください。
- スピーカーに水滴が残っていると一時的に異音が出る場合があります。水抜きをした後、よく乾燥させてください。

■利用シーン別注意事項

<雨の中>

雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。

- ・ 雨とは、「やや強い雨」の場合(1時間の雨量が20mm未満まで)を指します。
- ・ 雨がかかっている最中、または手が濡れている状態でのイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの開閉は絶対にしないでください。

<シャワー>

シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

- ・ 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

<お風呂場>

お風呂場で使用できます。

- ・ 濡れた手で操作できますが、湯船には浸けないでください。
- ・ お風呂場の構造・環境によっては電波が届かず、テレビ視聴や通話、データ通信ができない場合があります。
- ・ お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。
- ・ 浴室温度40℃以下、湿度99%以下で連続使用1時間以内とし、その後必ず水抜き・乾燥を行ってください(▶P.59)。なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
- ・ 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本製品が常温になってから持ち込んでください。また、お風呂場で暖まった本製品に冷たい水をかけないでください。浸水の原因となります。
- ・ カメラのレンズやディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- ・ 高温のお湯がかからないようにご注意ください。湯温の上限は43℃となります。耐熱設計ではありません。
- ・ 水道水以外のお湯をかけないでください。
- ・ 湯船のお湯がかかった場合、水道水で洗い流してください。

<プールサイド>

- ・ プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- ・ プールの水には消毒用塩素が含まれているため、プールの水がかかった場合には速やかに常温の水道水*で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用しないでください。

※やや弱めの流水(6リットル/分以下)

<キッチン>

キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- ・ 洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

- ・熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- ・コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- ・テレビを見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

■共通注意事項

イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーについて

イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーを開閉する際は手袋などをしてそのまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センターまでご連絡ください。

水に濡れた後は

水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください(本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません)。

ゴムパッキンについて

イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバー周囲のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。

イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。

イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本製品が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。

防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センターまでご連絡ください。

スピーカー／送話口(マイク)のメッシュ部について

洗浄を繰り返すことによりメッシュ部にハンドソープ成分が残り、目詰まりが発生し、着信音などの鳴動時や送話時の音質が低下するおそれがあります。性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センターまでご連絡ください。

充電について

本製品が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
充電用機器、周辺機器は防水性能を有しておりません。

防水性能について

耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所(蛇口・シャワーなど)でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い流水(6リットル/分以上の流水:例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの流水)を直接当てないでください。本製品はIPX5相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

本製品は水に浮きません。

耐熱性について

熱湯・サウナ・熱風(乾燥機、ドライヤー、ファンヒーターなど)は使用しないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

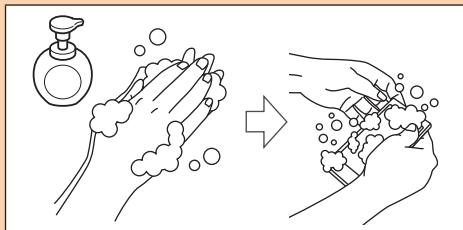
洗浄のしかた

- 市販のアクセサリ商品(端末カバー、ケース、ストラップなど)は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- 当社試験で使用した家庭用ハンドソープ(▶P.53)以外の製品(業務用を含む)、石けん、洗剤、入浴剤、シャンプー、リンス、ボディソープ、洗顔料、メイク落とし、歯磨き粉などで洗浄しないでください。付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。
- 種類の異なるハンドソープは混ぜないでください。
- ハンドソープ原液を直接付けないでください。原液が付いた場合には、直ちに水で洗い流してください。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときはイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーがしっかり閉じていることを確認し、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機、食器洗浄機などで洗わないでください。
- 洗浄時の製品傷付き防止のため、装飾品(腕時計、指輪、付け爪など)は外してください。
- 急激な温度変化により本製品内部への浸水の恐れがありますので、本製品が冷え切った状態や温かい状態では洗わないでください。本製品は常温(25℃程度)の状態では洗ってください。

1 本製品の電源を切ります。

2 手を洗って水分を拭き取ってください。次にハンドソープを手のひらに乗せて十分に泡立ててから本製品を持ち、表面と背面が同じ頻度ですられるように洗ってください。



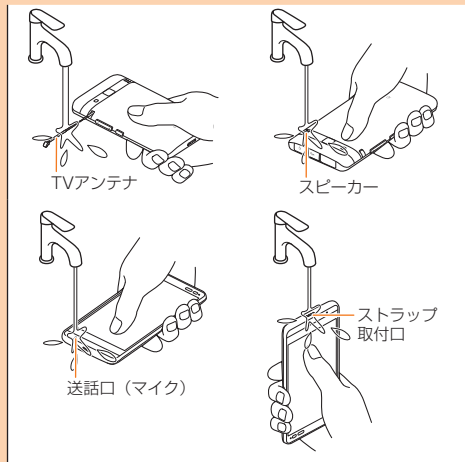
3 表／背面、各ボタン、TVアンテナを引き出してハンドソープの泡が完全になくなるまですすぎます。

※ やや弱めの流水(6リットル／分以下)で、蛇口やシャワーより約5cm離れた位置で水道水(30℃程度のぬるま湯)ですすいでください。

次にスピーカー、送話口(マイク)、ストラップ取付口をさらに弱めの流水(3リットル／分程度)で洗い流します。

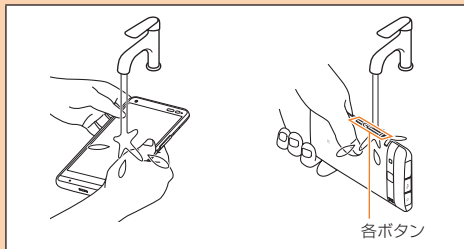
※ スピーカーは約30秒、送話口(マイク)、ストラップ取付口は約20秒洗い流します。

ハンドソープの泡が残っていると故障の原因になりますので、泡が残っている場合は、泡がなくなるまでよくすすいでください。



4 「水に濡れたときの水抜きについて」(▶P.59)を参照して水抜きをしてください。

5 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

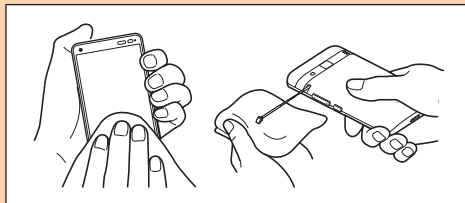


水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

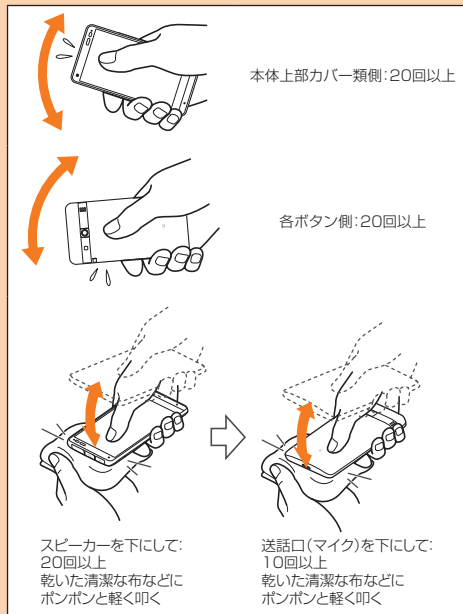
下記手順で水抜きを行ってください。

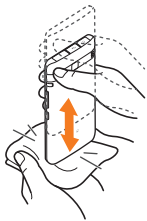
- 1 本製品全体の水分を繊維くずの出来ない乾いた清潔な布などでよく拭き取り、次にTVアンテナを引き出して水分を拭き取ってください。**



2 振りかたについて

- ① 本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。
 - ※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
 - ※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。

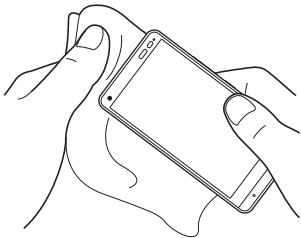




ストラップ取付口を下にして:
10回以上
乾いた清潔な布などに
ポンポンと軽く叩く

② 出てきた水分を拭き取ります。

※ ストラップ取付口、送話口(マイク)、スピーカー、各ボタン、イヤホンマイク端子部、外部接続端子部、カード挿入口は特に水が抜けにくいので、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。



3 本製品から出た水分を十分にに取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。

また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

■充電のときは

充電用機器、周辺機器は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子カバーを開いてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。
- 濡れた手で指定の充電用機器に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®) 機能について

- ・本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センターまでお問い合わせください。
- ・本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
 - ・無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。

- 無線LAN(Wi-Fi[®])は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth[®]・無線LAN(Wi-Fi[®])通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth[®]と無線LAN(Wi-Fi[®])は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth[®]、無線LAN(Wi-Fi[®])のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth[®]機能および無線LAN(Wi-Fi[®])機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

Bluetooth[®]機能:2.4FH1/XX1

- お客様がインストールを行ったアプリなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモリカードをセットしないとご利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールされているアプリはアプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

付録

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.27
	□(電源ボタン)を着信ランプが点灯するまで長く押ししていますか？	P.28
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.27
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.27
	指定の周辺機器(アダプタなど)で充電をしていますか？	P.27
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	□(電源ボタン)を11秒以上長く押すと強制的に電源を切り再起動することができます。	P.29
電源が勝手に切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.27
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.27
電話がかかけられない	電源は入っていますか？	P.28
	UQ mobile Multi IC Card 01が挿入されていますか？	P.23

こんなときは	ご確認ください	参照
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.37
	サービスエリア外にいませんか？	P.37
	電源は入っていますか？	P.28
	UQ mobile Multi IC Card 01が挿入されていますか？	P.23
「  」(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにはいませんか？	P.37
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.21
	UQ mobile Multi IC Card 01以外のカードが挿入されていませんか？	P.23
ボタン／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.28
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.28
「  」が表示される	UQ mobile Multi IC Card 01が挿入されていますか？	P.23
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.27
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？	P.27
	・ 赤色の充電ランプが消灯するまで、充電してください。	
	内蔵電池が寿命となっていないですか？	P.45
	「  」(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.37
	使用していないアプリや機能を終了・停止してください。	—

こんなときは	ご確認ください	参照
電話をかけたときに受話部(レシーバー)から「ブーツ、ブーツ、ブーツ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにはいませんか？	P.37
画面照明が暗い	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。	—
相手の方の声が聞こえない／聞き取りにくい	受話部(レシーバー)が耳に当たるようにしてください。	P.21 P.22
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知がありますか？ 通知がない場合は、電話帳の着信設定は有効になりません。また、電話帳のグループ着信設定は有効になりません。	—

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のUQコミュニケーションズ株式会社ホームページのお客様サポートでご案内しております。

<http://www.uqwimax.jp/support/>

ソフトウェアやOSを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能入手できます。

ソフトウェアのアップデートの種別により、更新の方法が異なります。

■ ご利用上の注意

- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 詳しくは、京セラホームページのサポート情報をご覧ください。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ローミング中は、ご利用になれません。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センターまでお問い合わせください。

ソフトウェアやOSをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 アプリ一覧→[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]

2 [更新確認]

以降は、画面の指示に従って操作してください。

アフターサービスについて

修理を依頼される前に、本書の「故障とお考えになる前に」をご覧ください。それでも改善されない場合は、「端末故障受付センター」にご連絡の上、ご相談ください。



memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。

■保証書(巻末)について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ UQ mobile Multi IC Card 01について

UQ mobile Multi IC Card 01は、通信事業者からお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、端末故障受付センターまでお問い合わせください。

主な仕様

ディスプレイ	約5.0インチ、約1,677万色、TFT全透過型	
	720×1,280ドット(HD)	
質量	約155g	
充電時間 (目安)	共通ACアダプタ 05(0501PWV) (別売)	約160分
連続通話時間	国内	約1,300分
	海外(GSM/ UMTS/LTE)	約880分
連続待受時間	国内	約790時間
	海外(GSM/ UMTS/LTE)	約900時間
連続テザリング 時間	約980分	
Wi-Fiテザリング 最大接続数	10台	
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約71×141×10.1mm	

内蔵メモリ容量 ^{*1}		ROM:約16GB RAM:約2GB
アウトカメラ有効画素数		約1,300万画素
インカメラ有効画素数		約200万画素
無線LAN(Wi-Fi [®])機能		IEEE802.11b/g/n 準拠
Bluetooth [®] 機能	対応バージョン	Bluetooth [®] 標準規格 Ver.4.1 準拠 ^{*2}
	出力	Bluetooth [®] 標準規格 Class 1
	通信距離 ^{*3}	見通しの良い状態で 10m以内
	対応プロファイル・ 機能 ^{*4}	GATT (Generic Attribute Profile) SPP (Serial Port Profile) A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/ Video Remote Control Profile) HSP (Headset Profile) HFP (Hands-Free Profile) OPP (Object Push Profile) PBAP (Phone Book Access Profile)

Bluetooth [®] 機能	対応プロファイル・ 機能 ^{※4}	HID (Human Interface Device Profile) PAN(Personal Area Networking Profile) PAN-NAP(Personal Area Networking- Network Access Point) PAN USER(Personal Area Networking- User) HOGP(HID over GATT Profile) MAP(Message Access Profile) SCMS-T(Serial Copy Management System-T)
	使用周波数帯	2.4GHz帯
連続ワンセグ 視聴時間	約12時間30分	

※1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。

※2 本製品およびすべてのBluetooth[®]機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth[®]標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※4 Bluetooth[®]機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth[®]標準規格で定められています。



memo

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以上になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種KYV36の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準*ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.444W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.507W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。

キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ
<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
- UQコミュニケーションズ株式会社のホームページ
<http://www.uqwimax.jp/>

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

OpenSSL License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF

MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body.

To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

European RF Exposure Information

Your mobile device is both a radio transmitter and receiver, and is designed not to exceed limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were produced by independent scientific organization, ICNIRP, and include safety margins designed to protect all persons, regardless of age and condition of health.

The guidelines apply a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg, and the highest SAR value for this device was 0.651 W/kg*.

As testing measures SAR at the highest transmitting power of a device, actual SAR tends to be lower during ordinary operation. Lower SAR levels are typical during ordinary operation as automatic changes are made within the device to ensure the network can be reached with minimal power.

The World Health Organization (WHO) has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions to be adopted when using mobile devices. WHO also notes that those wishing to reduce exposure may do so by limiting call length and by using a 'hands-free' device to distance the phone from the head and body. For further information, please see the WHO website: <http://www.who.int/peh-emf/en/>

* Note that tests are also carried out in accordance with international testing guidelines.

Declaration of Conformity

Product is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2.

Safety Information

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.



知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Playミュージック、Playミュージック ロゴ、Playムービー、Playムービー ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Googleドライブ、Googleドライブ ロゴ、ハングアウト、ハングアウト ロゴ、Googleマップ ナビ、Googleマップ ナビ ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows Vista®/Windows® 7/Windows® 8/Windows® 8.1/Windows® 10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

WiMAXは、WiMAXフォーラムの商標です。

Wi-Fi®, WPA®, Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Setup ロゴ、Wi-Fi Direct®, Miracast®はWi-Fi Allianceの登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

🌀は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。

iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2015 All Rights Reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED

FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE ([HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com))

「DIGNO」「スマートソニックレシーバー」は京セラ株式会社の登録商標です。

本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

書体切り替えには、株式会社リムコーポレーションの「もじチェン」を使用しています。「もじチェン」は株式会社リムコーポレーションの登録商標です。

本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。

本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。

本製品には赤外線通信機能としてイーグローバレッジ株式会社のDeepCore® 3.0Plus for Androidを搭載しています。Copyright© 2012 E-Gloaledge Corp. All Rights Reserved.

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

シーン検出技術には株式会社モルフォの「PhotoScouter」を採用しております。「PhotoScouter」は株式会社モルフォの登録商標です。

夜景ポートレート撮影向け合成技術には「Morpho Night Portrait」を採用しています。「Morpho Night Portrait」は株式会社モルフォの商標です。

画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Effect Library」を採用しております。「Morpho Effect Library」は株式会社モルフォの商標です。

画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Rapid Effect」を採用しております。「Morpho Rapid Effect」は株式会社モルフォの商標です。

HDR(High Dynamic Range)技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

その他社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。
- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点にご注意ください。

- (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。

- (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。

- (c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL) およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。

なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「端末情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社は無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国政府機関が定める米国輸出規制（Export Administration Regulations、およびその他の関連法令）、その他の国の法令等の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を直接的、または間接的とを問わず輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省、その他関係機関へお問い合わせください。

■ 診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客様のご協力をお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客様の端末の故障診断および使用状況データ（お客様によるアプリケーションの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客様によるアプリケーションの使用に関する詳細情報（特定の機能、使用頻度、メモリ／電池の使用状況））を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客様より端末の修理依頼があった際に、お客様の同意のうえ収集することがあります。

おサイフケータイ[®]対応サービス ご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ[®]対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1. おサイフケータイ[®]対応サービスについて

1. おサイフケータイ[®]対応サービスとは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を用い、おサイフケータイ[®]に搭載されたFeliCaチップを利用したサービスです。
2. おサイフケータイ[®]対応サービスは、おサイフケータイ[®]対応サービス提供者（以下、SPといいます）が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ[®]対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ[®]対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
3. おサイフケータイ[®]対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2. FeliCaチップ内のデータの 取り扱い等について

1. お客さまがおサイフケータイ[®]対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ[®]のFeliCaチップへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。

2. FeliCaチップ内のデータ(電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、FeliCaチップ内データといいます)の使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. おサイフケータイ[®]の故障等により、FeliCaチップ内データの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ[®]の修理を行います。お客さまは、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ[®]の修理をお申し付けください。なお、当社においてもFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾いただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内のデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるおサイフケータイ[®]対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ[®]対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ[®]対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内データのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ[®]対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ[®]対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内データの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップへの移し替え等を行うことはできません。
7. その他NFC機能に対応したSPのサービス利用において生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3. FeliCaチップの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ[®]対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ[®]に搭載されたFeliCaチップを特定するために、当該FeliCaチップ固有の番号が、おサイフケータイ[®]対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがおサイフケータイ[®]対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ[®]に搭載されたFeliCaチップ固有の番号と、FeliCaチップ内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。

4. 不正利用について

1. お客さまのおサイフケータイ[®]の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ[®]の紛失・盗難等に備え、ご利用前におサイフケータイロックを設定されることを推奨します。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。

3. おサイフケータイ[®]対応サービスによっては、SPIによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPIにお問い合わせください。

5. その他

1. おサイフケータイ[®]対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ及び他の電話におサイフケータイ[®]をかざしておサイフケータイ[®]対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ[®]対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ[®]の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ[®]対応サービスのご利用及びお客さまご自身のFeliCaチップ内データの削除ができなくなることがあります。
3. 電池パックを外した場合は、おサイフケータイ[®]対応サービス及びNFC機能をご利用いただけません。
4. 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ[®]対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。
5. 機内モード設定中は、おサイフケータイ[®]対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。

お問い合わせ先

■商品に関するお問い合わせ

UQお客様サポートセンター

(一般電話・携帯電話などから)

0120-929-818 (通話料無料)

受付時間: 9:00~18:00 年中無休

- ・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・IP電話 (050-XXXX-XXXX) からは接続できない場合があります。

■電話機の修理に関するお問い合わせ

端末故障受付センター

(一般電話・携帯電話などから)

0120-959-558 (通話料無料)

受付時間: 9:00~21:00 年中無休

- ・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・IP電話 (050-XXXX-XXXX) からは接続できない場合があります。

■ホームページからのお問い合わせ

機器に関するご相談、お問い合わせ

UQ コミュニケーションズ株式会社

<http://www.uqwimax.jp/>



やめましょう、
歩きスマホ。



キケン!
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルネットワーク

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず  マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2016年7月第1版

発売元: UQコミュニケーションズ株式会社

沖縄パリュウイネイブラー株式会社

製造元: 京セラ株式会社

KTDA21WAXX- 0716YG